

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 24 年 2 月 16 日 (2012.2.16)

【公開番号】特開 2010-151961 (P2010-151961A)
 【公開日】平成 22 年 7 月 8 日 (2010.7.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-027
 【出願番号】特願 2008-328019 (P2008-328019)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 15/20 5 5 5

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 12 月 22 日 (2011.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録材上のトナー画像を加熱ニップ部にて加熱する加熱ベルトと、
 前記加熱ベルトに接触して前記加熱ニップ部を形成する加圧部材と、
 ヒータを備えて前記加熱ベルトを加熱する加熱部と、前記加熱部の温度を検知する第 1
 温度検知手段と、前記加熱部の温度が目標温度となるように、前記第 1 温度検知手段の検
 知温度に基づいて前記ヒータへ供給される電力を調整する温度調整手段と、を有する画像
 加熱装置において、

前記加熱ベルトの温度を検知する第 2 温度検知手段を備え、

所定の経過時間における前記第 2 温度検知手段の検知温度の変化量が大きくなると、画
 像が加熱される時の前記目標温度をより低くするように前記目標温度を変更する変更手段
 を有することを特徴とする画像加熱装置。

【請求項 2】

前記所定の経過時間に前記ヒータへ電力が供給されていることを特徴とする請求項 1 に
 記載の画像加熱装置。

【請求項 3】

前記変更手段は、前記記録材の種類に応じて、前記目標温度を変更することを特徴とす
 る請求項 1 または請求項 2 に記載の画像加熱装置。

【請求項 4】

前記ヒータの前記加熱ベルトに対向する面には保護層が設けられることを特徴とする請
 求項 1 から 3 の何れか 1 項の画像加熱装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

上記課題を解決するために本発明は、記録材上のトナー画像を加熱ニップ部にて加熱す
 る加熱ベルトと、前記加熱ベルトに接触して前記加熱ニップ部を形成する加圧部材と、ヒ
 ータを備えて前記加熱ベルトを加熱する加熱部と、前記加熱部の温度を検知する第 1 温度

検知手段と、前記加熱部の温度が目標温度となるように、前記第 1 温度検知手段の検知温度に基づいて前記ヒータへ供給される電力を調整する温度調整手段と、を有する画像加熱装置において、前記加熱ベルトの温度を検知する第 2 温度検知手段を備え、所定の経過時間における前記第 2 温度検知手段の検知温度の変化量が大きくなると、画像が加熱される時の前記目標温度をより低くするように前記目標温度を変更する変更手段を有することを特徴とする。